

ケーブル技術ショー2023 出展者 一覧 (ZONE別)

会社名
トータルソリューションZONE
ミハル通信
古河電気工業
パナソニック コネクト
富士通ネットワークソリューションズ
CommScope
関電工
シンクレイヤ
ジャパンケーブルキャスト
NEC ネットエスアイ
住友電気工業
日本デジタル配信
テクノロジーZONE
伊藤忠ケーブルシステム/アイテック阪急阪神
プラットイーズ
大電
構造計画研究所
Vecima Solutions
ネクストキャディックス
スターデジタル通信
フォーティネットジャパン
BBIX
インターネットマルチフィード
データコントロールズ
VeEX/メインテクノロジー/イスミ設備設計
サイバー・ネット・コミュニケーションズ
イノコス
日本通信機
東神電気
DXアンテナ
トラフィック・シム
VIAMIソリューションズ
東京電機産業
サン電子
ニューメディア
日本アンテナ
JPIX
マスプロ電工
まほろば工房
三菱電機
SCSK
ブレーンズ・システム
JOHNAN
クロスイメージング
Ruijie Networks Japan
朋栄

会社名
テクノロジーZONE
イメージニクス
H3C Japan Technologies
THK
ティーブイエスネクスト
ロジネットサービス
ウエストン
ビデオトロン
フジクラ
バッファロー
伊藤忠ケーブルシステム
ダイコー通産
NTTエレクトロニクス
データブロード
華為技術日本
MEDIAEDGE
リーダー電子
ネットセーブ
東亜ソフトウェア
APRESIA Systems
DTSインサイト
Technetix Group
東京シー・エム・シー
理経
santec Japan
Helpfeel
地域DX ZONE
東洋紡エンジニアリング
サテライトコミュニケーションズネットワーク
日本ソフト開発
KDDI
スモールブース
ガンスイ
NTTSportict
トライアルブース
オムニディジコム
アマゾン ウェブ サービス ジャパン
伊藤忠テクノソリューションズ
ITクエスト
笠岡放送
PacketLight Networks
システム計画研究所
キャノンマーケティングジャパン
Curvature Solutions Japan
コムワークス
楽天コミュニケーションズ

ケーブル技術ショー2023

CATV業界の最新動向

DX化による未来を展望

日本ケーブルテレビ連盟、日本CATV技術協会、衛星放送協会の3団体は、CATV業界の総合コンベンション「ケーブルコンベンション2023」の関連イベントである「ケーブル技術ショー2023」の技術展示会（リアル会場）を東京・丸の内東京国際フォーラムで7月20、21日に開く。技術展示会に先駆け、6月28日からオンライン展示会「メタバースイベント」も実施しており（8月31日まで）、双方の特徴を生かした新時代の展示会を展開する。入場無料（登録制）。

ケーブル技術ショー2023の開催コンセプトは「Let's start with U」に向け、ここから始めようという意味が込められ、地域DX、持続可能な未来をつくるケーブル技術の「実行力」。

5日に開いた説明会で、日本CATV技術協会の中村俊一理事長（ミハル通信社長）は「これは、CATVの技術力により、

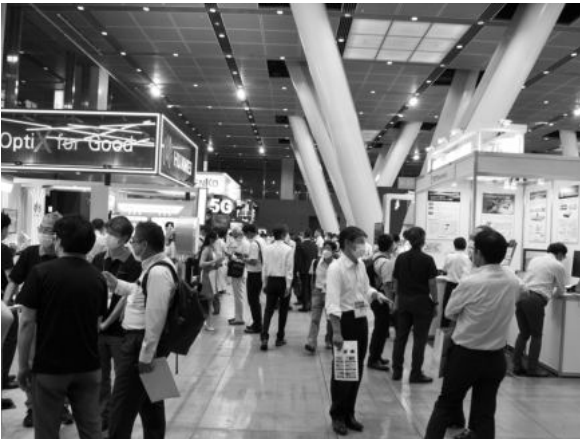
地域共創・地域DXをけん引し、持続可能な未来「テクノロジーZONE」、

「地域DX ZONE」に加え、「トライアルZONE」を新設。ここでは、分野や業界の垣根を超えてビジネスチャンスの獲得に向けた新たなチャレンジを後押しする。

主催者テーマ展示コーナーでは、映像配信、運

用保守、オールIP放送サービスなど次世代CATV技術の紹介や放送・通信連携サービス、新4K8K衛星放送受信技術関連に加え、ローカル5Gの取り組み、地域DXの実証事例紹介など、CATV技術の最新動向を分かりやすく説明する。

また、特別企画として「歩行型VR体験コーナー」を設ける。CATV業界のDXをテーマに、リアルな歩行感覚を生み出す画期的なVRトレックミルで、深い没入感のVR体験を提供。CATV業界がDX化によって得られる未来の展望と題



展示会場には新たに「トライアルZONE」が新設される（写真は昨年の会場の様子）

し、観光、防災・減災ビジネスなどの創出を提案する。

「技術セミナー」も実施。2日間合計で23セミナーを予定している。さらに今回新設の「会場内オープンステージ」では、

主催者セミナーと出展者セミナーの両方で最新情報を発信。2日間合計で8本のセミナーを開く（いずれも事前申し込みが必要）。一方、これまでのオンライン展示会を「メタバース」と「体験」ができる。技術展示会「会場内オープンステージ」の模様は、メタバースイベント内でも全プログラムをライブ配信する。メタバースイベント限定配信セミナーも3本配信。防災・減災DXを実現する災害情報活用プラットフォームの最新事例や、地域のCATV局が取り組む地域を生かすDX事例など、業界の最新動向を伝える。

【ケーブル技術ショーの詳細・事前登録】www.cattv-t.com/

COBALT openGear

新機能 Dante対応オプション

4K/HDR対応アップ/ダウン/クロスコンバータ

9904-UDX-4K

- 1RU 1/3ラックサイズのコンパクトなopenGear®互換フレーム
- 最大2スロット分のカードを実装可能
- 専用のラックマウントキットで、1RUに3つのユニットを収納
- コントロールアプリ「DashBoard」による管理/操作、SNMP監視機能を標準搭載
- フロントパネルでIPの設定や、搭載モジュールのステータスの確認が可能

1RU 1/3ラックサイズ
openGear®互換フレーム

BBG-1300-FR

Cobalt Digital製品の詳細は下記URLかQRコードよりご覧いただけます。
<https://itochu-cable-systems.jp/products/cobalt/>



伊藤忠ケーブルシステム株式会社 クロスメディアソリューション本部

ケーブルコンベンション関連イベント
ケーブル技術ショー
Cable Tech Show 2023
特集



パナソニック コネクト
トは「継続した機能拡張」

パナソニック コネクト KAIROSクラウドを訴求 デジタルサイネージも展示

サービス連携で、地域の新たな価値を創出」をテーマにIP放送ソリューション、KAIROSクラウドサービス、現場マルチネットワークサービス、新ハイブリットSTB、デジタルサイネージなどを展示する。

KAIROSクラウドサービスは、自由度の高い映像制作を可能にしたIT/IPプラットフォーム「KAIROS」をクラウド化し、さまざまなアプリケーションと連携することでワークフロー全体をシームレスにつなぎ、いつでもどこでも手軽に使えるサービス。

ライブ映像のスイッチング・コンテンツ管理機能をコアとした「KAIROSクラウドプラットフォーム」を軸に、シームレスな映像制作ワークフローを実現する。

KAIROS小型コントロールパネル「AT-KC10C2G」

クロスメージングは、システム「Media Community Station」を、コンテント配信元の気象サービスと共同で出展する。同システムは、気象サ

クロスイメージング 多様な気象コンテンツ 地域に密着した情報提供

21日11～12時には、用した新デジタルサイネージ「KAIROS クラウドソリューション」「Aドサービス」活用による「crossing」を取り映像制作の業務効率化と上げるオープンステージ映像価値向上/放送を予定している。

クロスメージングは、システム「Media Community Station」を、コンテント配信元の気象サ



Media Community Station

ービスから配信される気象・防災アラートを発信・解析・作画し、HD画質での放送画面を送出するところまで1台のPCで実施する。当地の天気やリーダー、洗濯情報といった多様な気象コンテンツを取り地域に密着した分かりやすい情報を視聴者に届ける。

伊藤忠ケーブルシステム 自治体・行政・法人向け 各領域でのビジネス提案

伊藤忠ケーブルシステムは「共創—未来—に向けた新しいサービスを提案」をテーマに、自治体・行政・法人向けビジネス領域における新しいサービスを訴求する。

BtoG (行政) 領域としては公共空間への設置を想定した太陽光パネ

ル、蓄電、充電、Wi-Fiスポット機能搭載のフェースフリーなスマートベンチを提案。

BtoB領域では、ローカル5Gでは初期検討の敷居を下げたローコストでできる実証実験を披露する。



蓄電池スマートスター

心を守るシステムを提案する。BtoC領域に関しては、国内5万台以上の実績を誇る「AI搭載蓄電池」を、高年齢者見守りソリューションでは、AI顔認証「NOKIA社の「XGSPON」はじめ、次世代カメラやGPS追跡等をPONの展開と活用について説明する。

APは「Wi-Fi6E」に対応したRuckus製品を展示する。事業活動支援としては、NOKIA社の「XGSPON」はじめ、次世代カメラやGPS追跡等をPONの展開と活用について説明する。

「ケーブルコンベンション2023」について7月5日に開かれた説明会で、日本ケーブルテレビ連盟の渡辺克也理事長は「生活、社会の状況はコロナ前に戻りつつあるが、生活、ビジネスのスタイルは変化した」とし、CATV業界もその変化に対応した取り組みをする必要があるとした上で、「ケーブルコンベンションの開催は業界にとって大きな意味がある」と話した。

ケーブルコンベンション2023 地域活性化の課題考察 栗山英樹氏の特別講演も

今年のメインテーマは「地域の力が未来を変えろ」を意味する『Power of Our Society』。2021年6月に公表した「2030ケーブルビジョン」で示したミッション「地域DXで地域を豊かに、人々を笑顔に」に沿い、継続して地域課題の解決に取り組んでいく意思を表したという。

【ケーブルコンベンション2023の詳細】
CATV-CON.jp/

いよいよRFとIPの複合した時代へ 地域サービスから人サービスへ

業界トップシェアで特長ある新製品
サプライヤーとしてケーブルテレビ
事業継続を支え、画像処理技術をコア
技術として高め、幅広い産業分野
への展開を目指します。

三井通信株式会社

ケーブルコンベンション関連イベント ケーブル技術ショー Cable Tech Show 2023 特集

展示は、「地デジ自主放送ハイブリッドキャスティングシステム」、「ダイバー



デジタルCATVシステム「MGRSシリーズ」

なソリューションを提案する。展示は、「地デジ自主放送ハイブリッドキャスティングシステム」、「ダイバー

無線伝送・メッシュWi-Fiシステムでは、i-Fiシステムでは、古河電工ブースとのコラボ



Cloud Studio

Cloud Studioは、これまでのライブ配信のオペレーションに必要な機材や機能を、クラウドプラットフォームで提供することで、配信コストの削減と効率性の向上、そして利便性を高める。

Cloud Studioは、これまでのライブ配信のオペレーションに必要な機材や機能を、クラウドプラットフォームで提供することで、配信コストの削減と効率性の向上、そして利便性を高める。

Cloud Studioは、これまでのライブ配信のオペレーションに必要な機材や機能を、クラウドプラットフォームで提供することで、配信コストの削減と効率性の向上、そして利便性を高める。

Cloud Studioは、これまでのライブ配信のオペレーションに必要な機材や機能を、クラウドプラットフォームで提供することで、配信コストの削減と効率性の向上、そして利便性を高める。

Cloud Studioは、これまでのライブ配信のオペレーションに必要な機材や機能を、クラウドプラットフォームで提供することで、配信コストの削減と効率性の向上、そして利便性を高める。

Cloud Studioは、これまでのライブ配信のオペレーションに必要な機材や機能を、クラウドプラットフォームで提供することで、配信コストの削減と効率性の向上、そして利便性を高める。

「Force」とマルチ画面ソリューションを展開する。マルチ画面ソリューションは、複数の情報カメラを二画面に同時表示し、多彩なレイアウトを実現する。αチャンネルに対応し、津波マップや河川

SCN マルチ画面ソリューション 多彩なレイアウトを実現



マルチ画面ソリューション

水位情報などの掲出や、止めテロップやスクロールテロップの混在表示をすることで、SCNが提供する緊急情報や防災情報、災害速報と合わせ避難情報を視聴者に分かりやすく伝達できる。

CMをクラウド化することでウェブブラウザ上から操作でき、L字タイトルを任意テキストで掲出可能にもなり、いつでもどこからでも情報登録や更新ができる。

「コメネット」サービスの特長である放送状況監視、システム保守をSCN映像センターで一元

化することで、CATV局の緊急情報の運用負担を大幅に軽減する。

朋栄

シンプルなシステム運用 オールインワン環境を提供



FMP-1000

チャ、ルーティング、配信までのオールインワン環境を提供するメディアパレット「FMP-1000」をはじめ、クラウドコンソール「ceaca」を活用した編集制作やテロップ制作、最新小型ビデオスイッチャー「HVS-1901」、

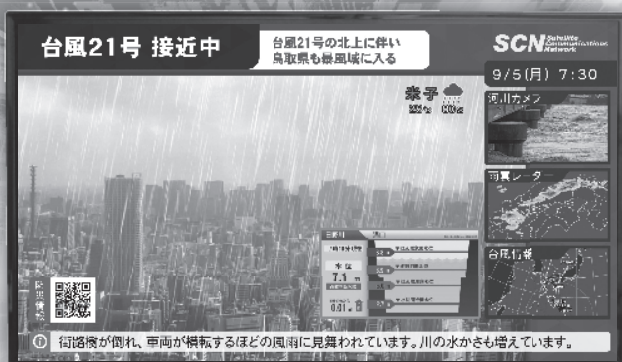
DSKなどさまざまな機能を搭載したオールインワンライブシステム。機材量を減らしてシンプルなシステム運用を可能に、配線/セットアップ/トラブルシューティングの手間と時間を大幅に削減できる。

キャラクタージェネレーター「EZV-410」など、最新製品・ソリューションを出展する。FMP-1000は、最大64入力72出力が可能なルーティングスイッチャー機能、マルチビュー機能、録画・再生機能、ストレージ、配信、ストリーミング、

キャラクタージェネレーター「EZV-410」など、最新製品・ソリューションを出展する。FMP-1000は、最大64入力72出力が可能なルーティングスイッチャー機能、マルチビュー機能、録画・再生機能、ストレージ、配信、ストリーミング、

L字システム Force

コメネットサービス L字端末 & CMS



コメchの地域情報 発信力強化 L字のワンストップサービス

止めテロップ
αチャンネル対応

L字タイトルを
任意で変更可能

情報コンテンツも
セットで提供



ケーブルコンベンション関連イベント
ケーブル技術ショー
Cable Tech Show 2023

出展します
ホールE
ブース C-02

2023年7月20日(木)・21日(金) | 東京国際フォーラム

SCN Satellite Communications Network
衛星サテライトコミュニケーションズネットワーク
https://www.sc-net.ne.jp

【本社】〒683-0801 鳥取県米子市新開2-1-7
☎ 0859-32-6103 ☎ 0859-22-8160
✉ info@sc-net.ne.jp

クラウドスタジオ CloudStudio

クラウドによるライブ配信プラットフォーム

CloudStudio
ライブリモートプロダクション

ミキシング レコーディング
エンコード スイッチング

多拠点で撮影された中継映像を素材として使用し、その他収録済み映像・テロップなどをリモートで合成、配信するシステムです。クラウド上に映像を集約するサーバーとスイッチングやミキシング、録画、配信ができるサーバーが用意されています。

SRT
Mini Server

vMix

・どこからでもリモート操作が可能
・ローカルと同じ操作性を実現
・クラウドから安定した映像送出
・配信内容に合わせたスタジオセットを作成可能

RTMP
Mini Server

OBS

14日間 お試しフリートライアルを実施中

CloudStudioを実際に使用してリモートライブ配信を体験してください

※無料でお試しいただける時間は8時間になります。

今すぐお問い合わせください

https://cloudstudio.jp/contact/cloudstudio-free-trial-campaign/



株式会社コムワークス

CloudStudioの詳細はこちら

TEL 0120-77-5609

https://comworks.co.jp

https://cloudstudio.jp

mail: order@comworks.co.jp

受付時間 9:00-18:00 [土・日・祝日除く]